

添付資料

添付資料 1. イギリス：Microgeneration Certificate Scheme (MCS) の概要

i) 設立の経緯

MCS は、設備容量 50kW 以下の小型発電（発熱）設備の製品およびサービスに対し、一貫性のある基準に基づき独立して認証を与えることを目的としている。この制度の下、「MCS マーク」を表示/使用する製品および設置者は MCS の認証を受けることが求められ、設置者については、公正取引庁による消費者規範認証機構（Consumer Code of Approval Scheme：CCAS）に沿った実施基準に参加/登録することが求められる。

2006 年に、BRE Global 社が、当時のビジネス・企業・規制改革省（BERR）（現在のエネルギー・気候変動省（DECC））から制度の開発、また、最初の認証機関として、製品および設置者を認証する役割を 2 年契約で任された。2008 年 11 月に、MCS は制度開発段階を終え、政府ではなく小型発電業界自身が資金供給および管理を行う新しいステージに移行した。

ii) 制度組織

MCS の運営にかかる各主体の役割は以下の通り。

- 利害関係者パネル（Stakeholder Panel）

認証機関、省庁、事業者団体、その他利害関係者等の業界代表者から構成されるパネルが、制度を率いている。

- テクニカルワーキンググループ（Technical Working Group）

技術およびスキルの進展と共に制度を常に更新していくため、制度の新基準策定を引き受けている。

- MCS 認証機関

MCS 認証機関となるためには英国認証機関認定審議会（United Kingdom Accreditation Service (UKAS)）による認証を受ける必要がある。適任の組織であれば、どの組織でも、UKAS に申請を行うことが可能。MCS 認証機関とは、MCS 基準を満たしている製品および設置者を認証する機関のこと。この認証を受けて当該製品または設置者は「MCS マーク」を表示/使用することが可能となる。

- Gemserv

制度の管理運営者である Gemserv は、ライセンスを受けた者（Licensee）としての役割を担っている。これは、エネルギー・気候変動省（DECC）が任命する、業界から独立した組織である。MCS によってイギリス国内外の小型発電業界の進展を継続させることを念頭に入れて、制度の管理および調整を任されている。

Energy Performance Certificate (EPC、エネルギー性能証書)



17 Any Street, District, Any Town, B5 5XX

物件種類: 一戸建て 受付番号: 0919-9628-8430-2785-5996
 診断日: 2011年8月15日 診断種類: RdSAP、既築物件
 認定日: 2012年3月13日 合計床面積: 165 m²

本文書の使用目的

- ・ 物件の現在の等級を比較し、どういった物件がよりエネルギー効率が高いかを確認します。
- ・ 改修工事を実施することで、どのように省エネおよび費用節減が達成されたか調査します。

3年間の本物件の光熱費 (推計)	£5,367
3年間の節減見込額	£2,865

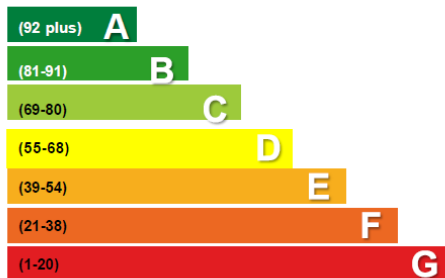
この住宅の光熱費 (推計)

	現在の料金	改修後の料金予測	今後の節減額
照明	£375 (3年間)	£207 (3年間)	
暖房	£4,443 (3年間)	£2,073 (3年間)	
給湯	£549 (3年間)	£222 (3年間)	
合計	£5,367	£2,502	

上表の金額は、一般的な家庭がこの物件で照明、暖房、および給湯に対して支払う料金を示しています。ここでは、テレビ、コンピューター、調理器具などの家庭用電気機器を稼働させるためのエネルギー使用、およびマイクロ発電によって生成される電力は除外されています。

省エネ等級

高いエネルギー効率 - 低いランニングコスト



現在	改修後
49	76

このグラフは、申請者の住宅の現在のエネルギー効率を示しています。

等級が高くなると、燃料費は低くなる傾向にあります。

改修後の等級は、3ページで推奨されている改修工事を施工した場合の効果を示しています。

イングランドとウェールズの物件に対する平均的な省エネ等級はバンドD (等級60) です。

光熱費節減および省エネ効率を高めるための最も推奨される対策

推奨される改修工事	費用概算	3年間の標準節減額	グリーンディール利用可
1 屋根裏断熱を 270 mm まで補強	£100 - £350	£141	✓
2 空中壁断熱	£500 - £1,500	£537	✓
3 隙間風対策	£80 - £120	£78	✓

この物件に推奨される改修工事に関しては、3ページの一覧表を参照してください。

省エネのための推奨される改修工事やその他対策に関するさらに詳細な情報は、www.direct.gov.uk/savingenergy にアクセスするか、0300 123 1234 までお電話ください。グリーンディールの開始により、初期費用なしで、あなたの家はより快適になり、光熱費も割安になるでしょう。

この物件のエネルギー性能に関する特性

項目	仕様	省エネ等級
壁	中空壁、施工完了時のまま、一部断熱（推定）	★★★★☆
屋根	勾配、75 mm 屋根裏断熱	★★★★☆
床	固体、断熱なし（推定）	-
窓	一部二重窓	★★☆☆☆
主暖房	ボイラーおよびラジエーター、ガス管	★★★★☆
主暖房管理	プログラマー、ルームサーモスタット、TRVs	★★★★☆
二次暖房	なし	-
給湯	メインシステムから	★★★★☆
照明	固定プラグの17%で省エネ照明	★★☆☆☆

現在の床面積1平方メートルあたりの一次エネルギー使用：298 kWh/m²（年）

本診断は、各項目の物的条件を考慮していません。「推定」とは、断熱材を検査することができないため、建築年数と建築種類をもとに推定されていることを意味します。

低炭素または無炭素エネルギー源

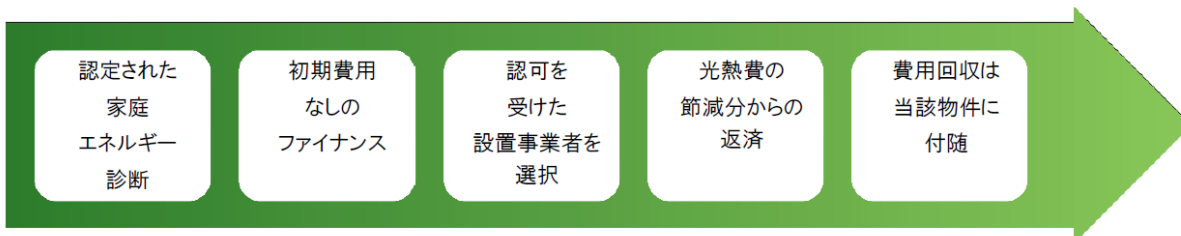
低炭素および無炭素エネルギー源とは、使用時にほとんどまたはまったく二酸化炭素を大気中に排出しないエネルギー源を指します。これらのエネルギー源を利用した設備を設置することで、光熱費を削減すると同時に二酸化炭素を削減します。この物件からは、いずれも排出されません。

この物件でグリーンディールの便益を受ける機会

グリーンディールが開始されると、テナントおよび所有者は居住物件をより省エネで心地よく、光熱費をより割安にするため、初期費用なしに改修工事を行うことが可能となります。物件にどのような工事が推奨されているかを確認するには、3ページをご参照ください。希望する工事を選び、認可を受けたグリーンディールプロバイダーに見積もりを依頼します。プロバイダーは認可を受けた設置事業者による工事をアレンジいたします。改修工事の代金は、光熱費で節減された額を超えない範囲内で返済されます。グリーンディールは当該物件に付随するものであるため、引越などの際には費用の返済は次の光熱費負担者に引き継がれます。



収入に関連した便益を受領している家屋所有者は、追加のヘルプが利用できます。

詳細な情報に関しては、www.direct.gov.uk/savingenergy をご覧になるか、0300 123 1234 までお問い合わせください。



推奨される改修工事

下記の工事により、あなたの住宅のエネルギー効率は向上します。下表にリストされた改修後の省エネ等級は、累積的なものであり、改修が表の上から順に実施されたものと仮定しています。推奨される工事に関する、より詳細な情報、および節約のために今日から実行できるちょっとした行動に関しては、www.direct.gov.uk/savingenergy をご覧ください。工事を実施する前に、必要に応じて、適切な許認可を取得済みであることを確認してください。こういった許認可には、（あなたがテナントである場合）家主の許可や工事の種類によっては Building Regulations の許可が含まれます。

工事代金は光熱費の節減分から回収されるべきであるため、緑のチェックマーク  が付いている工事は、グリーンディールの開始とともに、制度によって全額資金負担されると考えられます。追加サポートは固体壁断熱が推奨された物件が対象となります。オレンジのチェックマーク  が付いている工事の施工を希望される場合、一部初期費用を負担する必要があることにご留意ください。

推奨される改修工事	費用概算	年間標準節減額	改修後の等級	グリーンディール融資
屋根裏の断熱材を 270 mm に補強	£100 - £350	£47	E 51	
中空壁断熱	£500 - £1,500	£179	D 59	
隙間風対策	£80 - £120	£26	D 60	
固定ソケットの省エネ照明	£50	£43	D 61	
ボイラーをコンデensingボイラーに交換	£2,200 - £3,000	£339	C 74	
太陽温水器	£4,000 - £6,000	£34	C 75	
単板ガラスを low-E 複層ガラス窓に交換	£3,300 - £6,500	£41	C 76	

代替改修工事

下記の代替工事を検討することも可能です。

- ・ 中空壁断熱を伴う外部断熱
- ・ バイオマスボイラー (Smoke Control Areaにある場合は、除外機器)
- ・ 大気熱源または地中熱源ヒートポンプ
- ・ マイクロ CHP

最適なパッケージを選定

この EPC からの情報を利用したオンラインツールである、www.epcadviser.direct.gov.uk にアクセスし、光熱費の節減方法を検索してください。このツールを利用して、グリーンディールのパッケージをカスタマイズすることができます。

Directgov
Public services all in one place

グリーンディールパッケージ	標準的な年間節減額
屋根裏断熱	合計節減額 £587
中空壁断熱	
隙間風対策	
コンデensingボイラー	
電力/ガス/その他 省エネ	£0 / £587 / £0

この改修工事のパッケージをグリーンディールで賄うことができます。標準的なエネルギー使用をベースにすると、年間 £587 を節減することができます。この節減分の一部または全部が光熱費への請求を通じ、返済されます。

本文書について

この物件の Energy Performance Certificate は、AAA Energy Assessors Ltd が認定した診断士によって実施されるエネルギー診断を受け、交付されます。診断スキームの連絡先に関しては、証書の認可を確認するための詳細な手続きと併せ、www.aaa.co.uk を参照ください。この EPC の写しはナショナルレジスターに登録されます。登録された情報は公表され、データの一部は研究、順守状況、および関連省エネ情報のダイレクトメール送付目的で他の利用者と共有されます。物件所有者およびテナントは、この情報開示を拒否することもできます。

診断士の認可番号: AAA_123456
診断士名: John Smith
電話番号: 030 5555 1234
Eメールアドレス: john.smith@isp.net
関連当事者開示: 関連当事者なし

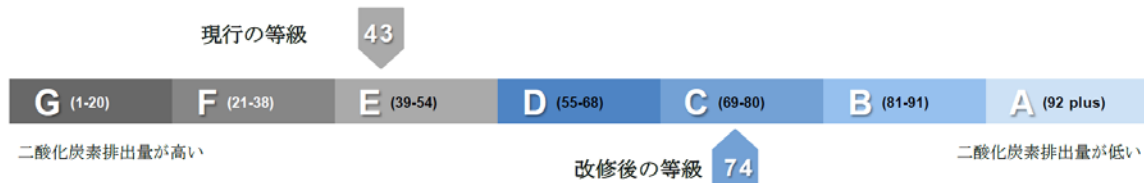
Energy Performance Certificates に関する詳しい情報は、www.epcregister.com の Frequently Asked Questions をご覧ください。

環境への建物の影響について

地球温暖化の最も大きな要因の一つに二酸化炭素がある。一般家庭における 暖房、照明、電力のために使用されるエネルギーは、英国の二酸化炭素排出の 4 分の 1 を占めます。

平均的な家庭は毎年 6 トンもの二酸化炭素を排出します。この診断をもとにすると、あなたの家庭では現在 9.5 トンの二酸化炭素を排出しています。このレポートで推奨される改修工事を実施することで、排出量を削減し、環境を保護することができ、年間 5.5 トンの排出削減が見込めます。再生可能エネルギー源に切り替えることで、さらなる削減も可能となるでしょう。

環境影響等級は、二酸化炭素排出という観点から環境への影響を測定するものです。等級が上がると、環境への影響は低くなります。



あなたの住宅の熱需要

大部分の住宅で、エネルギーコストのほとんどは暖房に費やされます。下表は標準的なエネルギー使用量をベースとして、屋根裏と壁を断熱することにより、物件で節約できるエネルギー量を示しています。（カッコ内の数字は、エネルギー使用における削減量です。）

熱需要	当該物件	屋根裏断熱 施工の効果	中空壁断熱 施工の効果	固体壁断熱 施工の効果
暖房 (kWh per year)	22,154	(1,179)	(4,535)	N/A
給湯 (kWh per year)	2,792			

追記

この住居は、中空壁が狭いので、最適な中空壁断熱の種類を決定するため、さらなる調査を要します。

添付資料 3. イギリス：家庭向け再生可能熱インセンティブの申請項目

基本的な申請項目

1. 申請資格 (申請者、申請住居施設、暖房設備について)

About you **申請者について**

1. Are you applying as: **1. 個人、組織**

An individual Representing an organisation

2. Do you own the heating system? **2. 暖房設備の所有者、共同所有者、非所有者**

Sole owner Joint owner with permission to apply from all other owners Not the owner

3. Are you: **3.所有者兼居住者、公営住宅の家主、個人住宅の家主、公的機関、借主、その他**

An owner-occupier A registered social landlord A private landlord A local authority

A resident at the property to which the system provides heat None of the above

4. Do you own or occupy the property where the heating system is installed? **4. 暖房設備設置時の所有者兼居住者、所有者、居住者**

Own and occupy Own but don't occupy Occupy but don't own Neither own nor occupy

About your renewable heating system

5. Enter your MCS Installer Certificate Number: **5. MCS 認証番号**

MCS - - Example 12345678-H

By providing this number you give Ofgem permission to access the data about your heating system held by the MCS scheme.

6. Does the renewable heating system at your property have more than one MCS certificate? If you are unsure how to answer this question please read the information in our reference [guide](#). **6. 暖房設備の MCS 認証は一つ以上か？**

Yes No

7. Have you or any previous owner used any of your own money to buy or install the renewable heating system? **7. 暖房設備の購入または設置に、あなたまたは以前の所有者が自分のお金を支払ったか？**

Yes No Don't know

8. Was any money used from public grants, including the Renewable Heat Premium Payment (RHPP), to buy, install or reimburse you for the heating system? **8. 暖房設備の購入、設置、弁済に、RHPP 等の公的式を使用したか？**

Yes No Don't know

9. What does your system provide heat for? Tick all that apply. **9. 暖房設備の使用目的は、暖房、温水、その他？**

Space heating such as central heating Domestic hot water

Other purposes, including swimming pools

10. Do you need to be metered for payment? **10. 計測器を使用しているか？** [Find out more](#)

Yes No

About your property


居住施設について

11. Enter your Energy Performance Certificate (EPC) number 

- - - - Example 1234-5678-1234-5678-1234

By providing this number you give Ofgem permission to access the data on your certificate held by the EPC scheme.

11. EPC 番号

12. In the last 12 months, tell us how long the property was occupied for: 

Enter the number of days

183 days or more Less than 183 days

12. 過去 12 か月間の居住日数？

13. What is being heated by the heating system?  [Find out more](#)

Single domestic property (one building only) Multiple properties


Domestic property (plus other buildings or swimming pool)

13. 暖房設備の利用施設は、単一の居住施設、居住施設とその他の施設やプール、複数の施設

14. To see if your property is an eligible new build, was the renewable heating system commissioned? 

After the property was first occupied Before it was first occupied (i.e. when the property was built)

14. 有資格の新規施設の場合、暖房設備の稼働は、施設居住後、居住前？

15. Tell us where your property is. 

England Wales Scotland

15. 居住施設の場所は？
イングランド、ウェールズ、スコットランド

Start Application

2. 住宅用 RHI 申請

Application to join Domestic RHI

Secure form

Complete the details below and when all sections are complete click 'Continue'. You'll receive an immediate response.

1 of 7 **Your personal details** **申請用 RHI アカウント作成**

Please complete your personal details. We'll verify this information to process your application. Your email address will also be your username to sign into My RHI, to retrieve saved applications or view your Domestic RHI account.

Title

First name

Surname

Please enter your name as it appears on your passport or other official ID. Otherwise, we may not be able to process your application.

Date of birth

Email address

Confirm email address

Contact number

Next section →

氏名、生年月日、メールアドレス、電話番号

2 of 7 **Password** **パスワード作成**

Use your email address and the password you create below to retrieve saved applications and to sign into My RHI to view your account. Your password must be:

- Minimum 8 characters long
- Have 1 uppercase letter and 1 lowercase letter
- Have 2 numbers

Password

Confirm password

Next section →

3 of 7 **Address details**

住所



Your flat number, building number or building name should be entered separately in the boxes provided. Please follow the examples shown in the boxes below. You must enter at least a flat number, building number or building name and a postcode.

Address where heating system is installed

Flat number

Building name

Building number

Address line 1

Address line 2

Town

Postcode

Home address Same as above

Correspondence address Same as above

Next section →

4 of 9 **Your heat pump's efficiency**

ヒートポンプ効率 SPF 値



As your heat pump was installed before the scheme launched, its seasonal performance factor (SPF) has been defaulted to 2.5. The SPF is a measure of its efficiency and we'll take it into account to calculate your payments. You have the option to submit a new SPF, however you must send us evidence for this change for us to approve your application. For examples of how the SPF affects payments, see the 'About payments' section in the Essential guide for applicants.

Please select a value from the list below if you wish to change your SPF:

SPF value

Next section →

4 of 7 **More about your heating system**

暖房設備について



Was the heating system new when it was installed?

Yes No

設置時に新しかったか？

Next section →

5 of 7 Metering and Monitoring **メータリングとモニタリングの申請**

Your renewable heating system can be used with an optional Metering and Monitoring Service Package to help you understand and optimise your system's performance.

To register your Package you must send your service agreement and the Ofgem technical checklist to DomesticRHI@ofgem.gov.uk. Read our [guide material](#) for more information.

Do you have a Metering and Monitoring Service Package installed that you would like to register in order to receive additional quarterly payments?

Yes No

既に設置の場合で、上乘せ受給申請を希望する or しない

新規申請の場合は、資料を DL してメール提出

Next section →

5 of 8 Metering questions **メータリングに関するアンケート**

You must complete these questions using the Installer Metering Questions document. Hover over the question mark icons for help. To find answers to the questions on the document look for the section numbers shown in the icons (e.g. 2.3)

Do you have a copy of the Installer Metering Questions document, completed by an MCS certified installer? **?**

Yes No

MCS 認定設置事業者から、メータリング・アンケート票を受け取っている

MCS company name **?**

MCS 認定設置事業者名

MCS company number **?**

MCS

MCS 認定設置事業者番号

Do you have a biomass stove or boiler? **?**

Stove Boiler

バイオマス・ストーブかボイラーを所有している

Do the meters measure heat output from the biomass installation only? **?**

Yes No

メーターは、バイオマス設備専用

Next section →

6 of 7 Survey questions アンケート

Providing answers to the following questions will help us understand the cost of installing renewable heating systems and evaluate the effectiveness of the RHI scheme. It won't effect any payments.

Total cost of ALL the work to install the renewable heating system £

Cost of labour to install the heating system in your home £

Cost of renewable heating product only £

How was the property heated before the renewable heating system was installed?

Next section →

RE 暖房設備設置費用の総額

RE 暖房設備設置の人工費

RE 暖房設備の購入費

RE 暖房設備設置前の暖房方法

7 of 7 Bank account details 銀行口座

If your application is successful we'll pay you every quarter. Please provide details for a valid bank account that accepts BACS payments.

Account number

Sort code

Next section →

四半期ごとの支払の振込先口座番号、銀行支店コード

Declaration

I have read and agree to the terms and conditions and declaration below.

Submit

Your declaration:

- the information I have given is accurate to the best of my knowledge and belief.

- I have read and agree to the terms and conditions of the scheme.

- I agree to send any information in the manner and form Ofgem requires within the application form, and share that information to assist in processing my application.

全てのフォームに記入・確認後、「規約承諾」にチェックを入れ、申請ボタンを押す。5営業日以内に結果通知。

下記いずれかの書類提出を求められた場合、メール提出 (DomesticRHI@Ofgem.gov.uk)

- ヒートポンプのSPF計算テンプレート
- 認可文書
- 断熱適用除外の文書
- メータリング・モニタリングサービスパック (MMSP) 文書
- Second MCS certificate
- 「Self-build」の証明
- MCS認定設置事業者メータリング・アンケート票

以上

追加提出を求められる可能性のある項目

申請書が見直しになるのはなぜ？

受給資格について検討するため、ITの自動承認ではなく、追加資料提出をお願いする場合があります。通常28日以内にご提出がない場合には、申請が取り消される可能性があります。追加資料が必要な場合でも、お支払は申請日からの計算になります。

速やかなお手続きのために

- 1) 住宅用RHI申請書を完成後、MyRHIで見直しメッセージが表示されているかご確認ください。
- 2) 申請書が見直し中の場合、必要な追加資料を直ぐにご提出いただくことも可能です。表1と表2に、見直し理由と必要な追加資料の詳細が記載してあります。追加資料のご提出がない場合、申請書提出から営業日5日以内に、資料請求のご連絡を差上げます。
- 3) 必要な追加資料のコピーをお送りください。スキャンまたは写真も可能です。最も早い提出方法は、件名に申請番号を記載したメール添付です。
- 4) 追加資料を受領後、受給資格を満たすかどうか申請書を査定し、承認かどうかご連絡を差上げます。査定中も追加資料のご提出をお願いする場合があります。

表1：提出が必要な追加資料

申請書見直し理由	必要な追加資料	必要な理由
<p>“複数のMCS” (熱設備に、同じ技術の製品が1つ以上使用されている場合)</p> <p>問6：所有地内の再生可能熱設備は、1つ以上のマイクロ発電認証 (MCS) を受けていますか？→「はい」と回答</p>	<p>🏠 申請する熱設備に係る全ての「MCS認証証明書」(PV発電を除く)</p> <p>注：空調暖房装置を申請されている場合、太陽熱温水装置の申請は、別に必要になります。</p>	<p>申請する熱設備は、全ての機材が同じ技術を使用し、同じ稼働開始日であることを確認するため</p>
<p>“助成金 (RHPP以外) 受給”</p> <p>問8：再生可能熱プレミアムペイメント (RHPP) 以外に、公的助成金を受給していますか？→「はい」と回答</p>	<p>🏠 発行機関の「助成証明書」更に下記資料の提出も必要な場合があります。</p> <p>🏠 発行機関や助成金が認知されていない場合、助成財源について</p> <p>🏠 「助成金利用内訳」特に、複数の熱設備への大口助成金の場合 (例、公営住宅)</p>	<p>規定により、公的助成金は家庭向けRHI支給金額から差し引かれることになっていることから、正確な金額を確認するため</p>
<p>“ロフト/中空壁”</p> <p>エネルギー性能認証 (EPC) で設置が推奨</p>	<p>🏠 地元の立案機関または公認の専門家の署名入り「断熱材適用除外認定書」</p>	<p>規定により、EPC認証推奨のロフト/中空壁断熱を設置、または設置適用除外として認定されていないため</p>
<p>“自己取付” (新規取付物件の受給資格) ‘Self-build (Eligible new build)’</p> <p>問14:申請した再生可能設備は、居住前に稼働した →新規取付物件に対する申請</p>	<p>🏠 建材費または作業人件費の請求書</p> <p>注：請求書には、最初の所有者の宛名と、所在地住所が記載してあること。</p> <p>申請者が最初の所有者でない場合、下記資料もご提出ください。</p> <p>🏠 最初の所有者の権利書 (土地登記所からHC1フォームで申請可)</p>	<p>受給資格のある新規取付物件は「自己取付」のみのため</p>
<p>“標準外のSPF値”</p> <p>問：季節性能 (SPF) の値が、標準の2.5以外と回答</p>	<p>🏠 MCS公認の設置業者 (実際に設置した業者以外も可) の「SPF値証明書」</p> <p>注：申請書と「SPF値証明書」のSPF値は同じであること</p>	<p>SPF値が受給額に影響するため。MCSの熱排出ガイドに基づく算出値でなければならない</p>

表2：提出が必要な追加情報

申請書見直し理由	必要な追加資料	必要な理由
<p>“PEL保留” (受給資格リスト)</p> <p>受給資格がある場合には提出不要</p>	<p>🏠 設置業者の「PEL証明書」および／または</p> <p>🏠 設置業者の「AQ証明書」(バイオマスのみ)</p>	<p>当局発行のPEL(受給資格リスト)を満たしていない場合に、受給資格の査定するため</p>
<p>“受給用メータリング申請”</p> <p>問10:受給用メータリングを希望しますか→「はい」と回答</p> <p>または</p> <p>問12:所有地の居住期間が、過去12か月間で183日以下と回答</p>	<p>🏠 設置業者の「メータリングに関する質問」をMyRHIから提出(バイオマス、ヒートポンプ)</p> <p>依頼があった場合</p> <p>🏠 「代替メータリング申請書」(バイオマス、ヒートポンプ)</p>	<p>特定のケース(再生可能熱のみのメータリングができない、冷却用のヒートポンプを使用等)は、代替メータリングが必要なため</p>
<p>“複数の建物に利用”</p> <p>問13:申請する熱装置は、複数の建物または水泳プールの暖房または温水に利用していますか→「はい」と回答</p>	<p>🏠 こちらから送付する「熱利用フォーム」</p>	<p>利用目的により、非家庭用RHIインセンティブに該当かを査定するため</p>
<p>“公営住宅の新規申請”</p> <p>振込先が、公営住宅等の所有団体・企業口座で、申請者の個人名と一致しない場合</p>	<p>🏠 委任状</p> <p>🏠 事務担当者のコンタクト情報</p>	<p>振込先が団体・企業口座の場合には、委任された代表者による申請が必要なため。代表者は、別途事務担当者を指名できる</p>
<p>“銀行ID”</p> <p>銀行認証ができない場合</p>	<p>別途指示に従って提出ください</p> <p>🏠 身分証明書</p> <p>🏠 住所証明書</p>	<p>自動で銀行認証がされない場合は、別途ご連絡します</p>
<p>その他</p>		<p>理由や指示についてご連絡いたします。</p> <p>品質保証のため、無作為の申請の見直しがあります</p>

添付資料 4. イギリス：家庭向け再生可能熱インセンティブの中間調査結果

1. RHI 認可と参加者調査の要約

本報告書では、第1～4回家庭向け再生可能熱インセンティブ（以下、DRHI）の調査結果について記載する。評価の一つは、オンラインのアンケートで、前月に初めて認可された所有者一居住者の申請者全てを対象に、毎月配信された。複数の設備を認可されている場合、無作為の一つの設備に関して回答するよう求められた。

2014年5月～8月に認可された申請者のうち、計3,056件から回答があった。回ごとの平均回答率は50%（Table1.1）であった。回答、無回答、複数回答を結果に反映した詳細は、技術附則に記載した。

Table1.1 家庭向けRHI申請者調査の最初4回の回答率

回数	月	認定数 ^{※3}	調査参加の申請者数 ^{※4}	有効回答数 ^{※5}	回答率
パイロット	2014年4月	432	n/a	n/a	n/a
第1回	2014年5月	731	689	328	48%
第2回	2014年6月	1,042	956	444	46%
第3回	2014年7月	2,508	2,289	1,228	54%
第4回	2014年8月	2,338	2,152	1,056	49%
合計		7,051^{※6}	6,086	3,056	50%

※3：DRHIは、個人・公共家主、所有者一居住者が対象。調査は、認可された所有者一居住者のみ対象。同じ申請者が複数の設備に申請している場合は複数申請者。

※4：申請書にEメールアドレス記載がなかった場合（124件）は配信なし。2014年4月の制度への申請者（432件）は、試験的調査のため、データは本報告書に含まれない。

※5：（最後の）質問「RHI制度の要件に問題があったか」まで完成した「有効回答」の回答率は54%（回によって異なる）。

※6：その後5件の取り消しがあったため、DECCの正式統計（7,046）と異なる。

現在のRHI対象である技術は、下記の4つ：

- 空気熱ヒートポンプ（ASHP）
- バイオマス・ボイラー
- 水熱、地中熱ヒートポンプ（GSHP）
- 太陽熱

Table1.2に、調査での技術別申請者数と回答率を示す。全体から多少の偏差がある。

Table1.2 家庭向けRHI申請者調査の最初4回の回答率（技術種類別）

技術	認定数	調査参加の申請者数	有効回答数	回答率
空気熱ヒートポンプ	2,422	2,125	1,050	49%
バイオマスボイラー	1,619	1,423	696	49%
地中熱ヒートポンプ	1,070	978	508	52%
太陽熱	1,940	1,560	802	51%
合計	7,051	6,086	3,056	50%

レガシー申請および新規申請：

- RHI制度開始前に設置した設備の申請は、レガシー申請と呼ぶ。2009年7月15日から2014年4月9日（DRHI制度の開始日）までに稼働した設備が対象。
- 2014年4月9日以降の申請は、新規申請。

Table1.3に、グループ別の申請数を示す。全体の回答率は、レガシー申請が51%、新規申請が45%であった。

Table1.3 家庭向けRHI申請者調査の最初4回の回答率（認定種類別）

申請種類	認定数	調査参加の申請者数	有効回答数	回答率
レガシー申請	6,035	5,148	2,633	51%
新規申請	1,016	938	423	45%
合計	7,051	6,086	3,056	50%

報告書について

単一または複数申請の申請者の調査を行った（申請は設備ごと）。調査は、申請者に対して一度で、複数申請の申請者の場合は、設備1件を無作為に選んでもらった。

報告書の内容は、「申請」と「申請者」に関する2種類の質問に対する回答である。例えば、制度への関心は「申請者」に関する質問で、申請手順は「申請」に関する質問である。「申請」に関するデータは、複数申請者のものを反映するため加重され、「申請者」に関するデータは、調査に全申請者が含まれているので加重されていない。種目別（申請の種類、技術、設備、床面積、自己建築、居住者数、前の設備）の回答率には、僅かに非回答バイアスが見られた。

調査は、毎月連続で配信したため、複数申請の申請者は、同じ月に（同時に）申請した場合しか含まれないことになる。異なる月に申請した場合、最初の申請のみが対象になった。これは、申請者は異なる意見を持っている、または、特定の技術を最初に申請している等のバイアスの一つであるかもしれないが、影響のある申請者は今のところ小規模なので、影響は最小限と査定した。もしも次回の調査で規模が大きくなった場合には、方法を変更することもあり得る。

本報告書のデータは、制度の新たな側面を提供するものであり、実施期間が短い（4か月）ため、回ごとの比較は行っていない。結果の有意性試験は、中間報告には不要と判断した。全体的に回答率が高い（50%）こと、非回答バイアスが出ていないことから、結果（加重・非加重）は妥当性があると考えられる。

調査の詳細は、技術附則を参照のこと。

2. RE熱設備の設置

- RE熱への切り替えの動機で最も多かったのは、経済的理由と環境配慮
- 80%以上が、財源の全てまたは一部が貯蓄
- 2/3が、設置に関する問題はなし

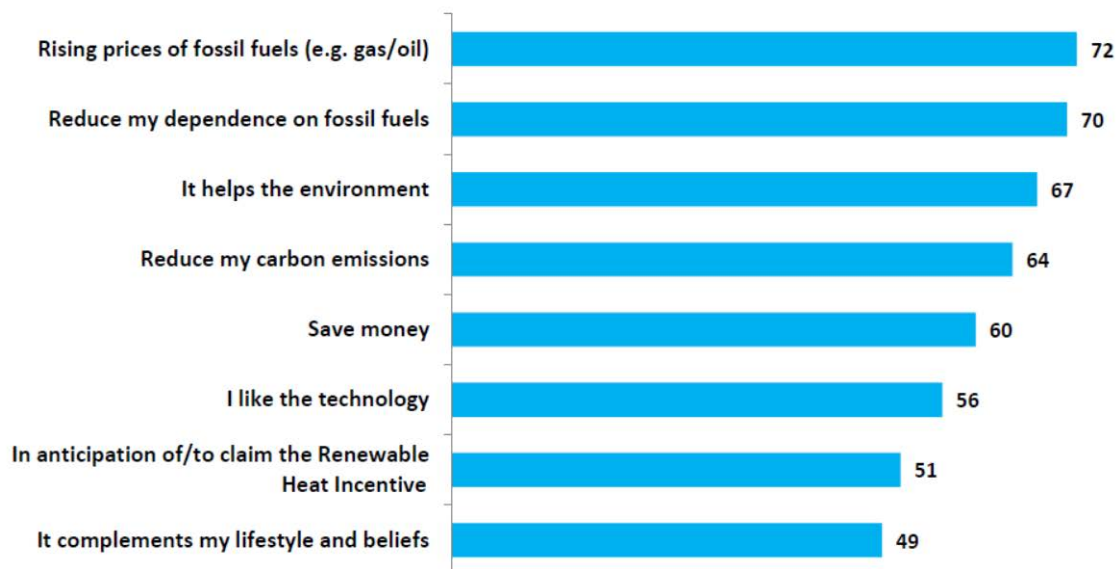
RE熱設置の理由

非REからREへの切り替えは、経済的理由

経済的理由のうち最も多かったのが、化石燃料の高騰（72%。Figure 2.1）で、他は節約（60%）、RHI受給（51%）であった。

切り替えの理由で次に多かったが環境配慮で、脱化石燃料（70%）、環境保護（67%）、脱炭素（64%）であった。

Figure 2.1 Reasons for installing a renewable rather than non-renewable heating system (%)



注：全回答数n=2,451。49%以上の回答項目をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

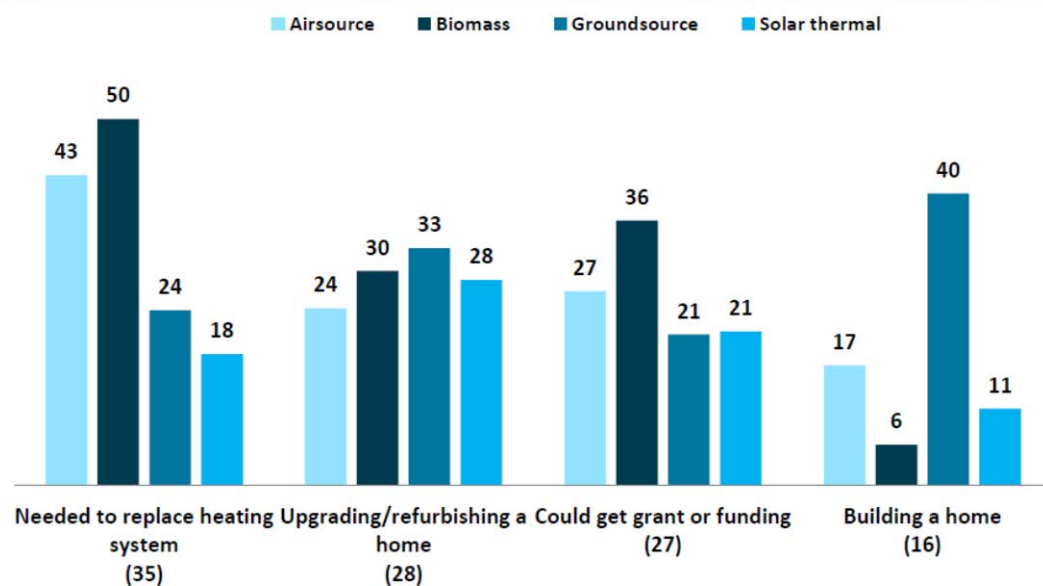
きっかけは、設備の取り換え、改装、助成金

Figure 2.2の通り、きっかけは熱設備の取り換えの必要（35%）、住居の改築・改装（28%）、助成金（27%）であった。

GSHPと太陽熱の申請者は、熱設備の取り換えの必要がきっかけとなることは少ない。バイオマスは、助成金のきっかけが多かった（36%。全体は27%）。

GSHPは、自宅改築（40%）が、他の技術（16%）よりも多かった。

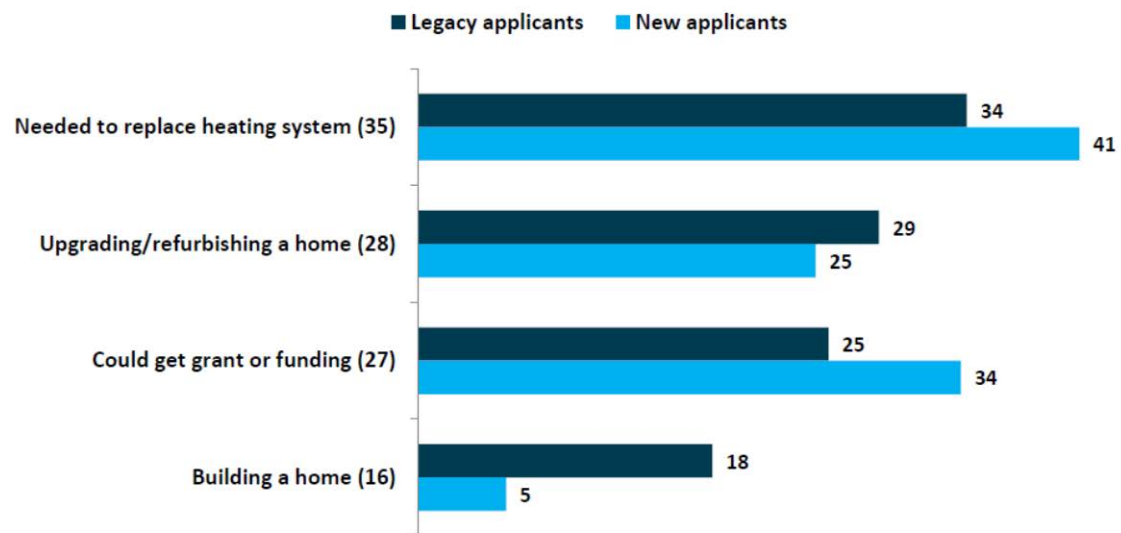
Figure 2.2 Motivation for installing renewable heating technologies (% by technology type)



注：回答数（ASHP=1,050, バイオマス=694, GSHP=505, 太陽熱=802）。16%以上の回答項目をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

Figure 2.3の通り、新規申請者（41%）は、レガシー申請者（34%）よりも、熱設備の切り替えがきっかけとなるが多かった。レガシー申請者（18%）の方が、新規申請者（5%）よりも、住居の新築がきっかけとなるが多かった。

Figure 2.3 Motivation for installing renewable heating technologies (% by application type)

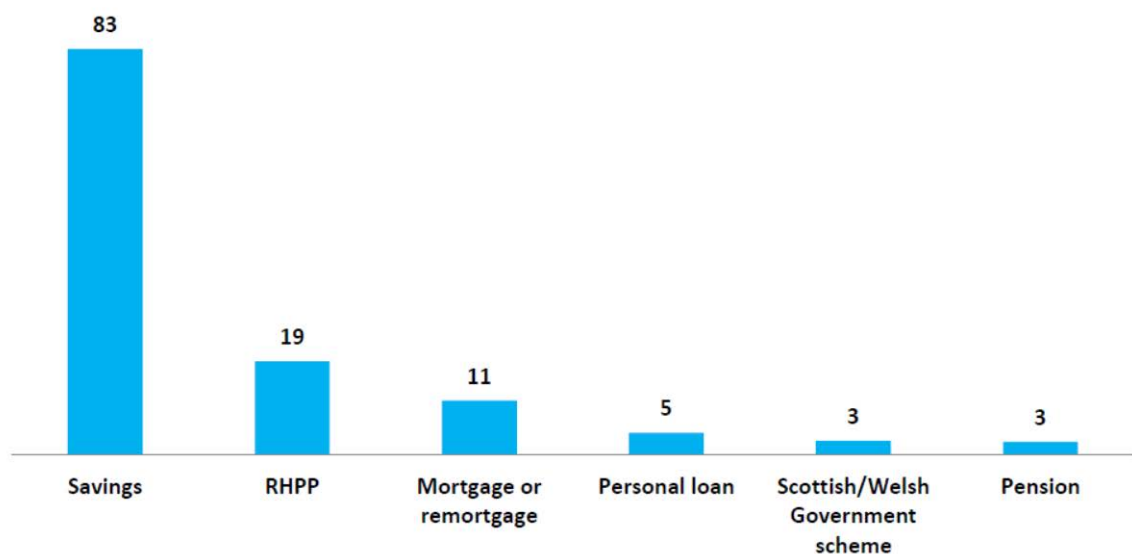


注：回答数（レガシー=2,628,新規=423）。16%以上の回答項目をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

初めの財源は、貯蓄

設置費用の全て、または一部の財源で最も多かったのは、個人の貯蓄であった（84%。Figure 2.4）。次にRHPP（19%）、住宅ローンまたは住宅再ローン（11%）であった。

Figure 2.4: How the installation was funded (%)



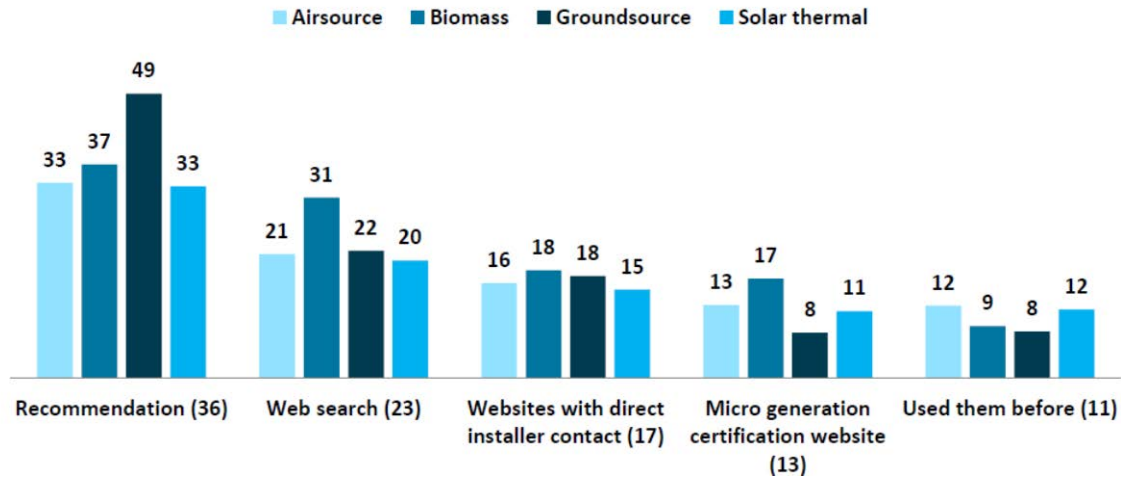
Base: All responses to the question (n=3,050); Notes: Multi-coded, weighted, categories presented selected by at least 3 per cent of respondents (full table included in data annex)

注：全回答数n=3,050。3%以上の回答項目をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）

設置事業者を見つけたのは、口コミまたはネット検索

Figure 2.5の通り、RE設置事業者を見つけたのは、1/3が口コミ（36%）で、特にGSHPで顕著であった（49%）。次に一般的なウェブ検索（23%）、1/5が設置事業者への直接連絡先があるウェブサイト（17%）で、最後がMicrogeneration Certificationのウェブサイト（13%）であった。

Figure 2.5: Most common ways of identifying a renewable heating technology installer (% by technology type)

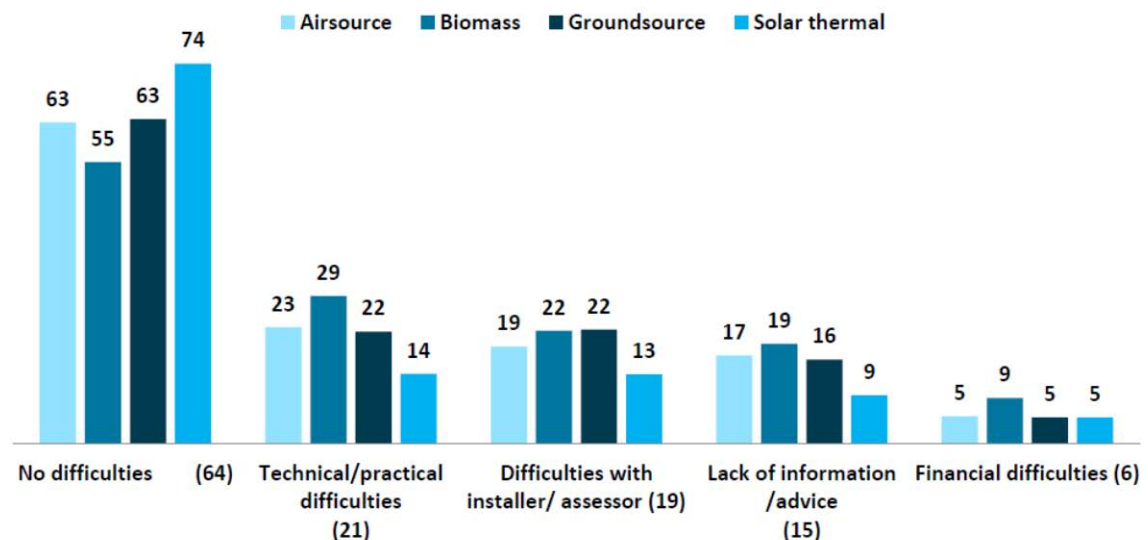


注：回答数（ASHP=1,039, バイオマス=680, GSHP=454, 太陽熱=790）。11%以上の回答項目をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

2/3は、RE熱設置に問題なし

2/3（64%）が、設置の問題はなかった回答した（Figure 2.6）。問題があったと回答した36%のうち、技術的・実用的問題が21%、設置事業者や査定人との問題が19%、情報やアドバイス不足が15%であった。新規およびレガシー申請者で、顕著な違いは見られなかった。

Figure 2.6: Difficulties faced in the overall process of installing the renewable heating technologies (% by technology type)



Base: All responses to the question (ASHP = 1,039, Biomass = 680, GSHP = 454, Solar thermal = 790); Notes: Multi-coded, weighted, categories aggregated from detailed categories (full breakdown included in data annex)

注：回答数（ASHP=1,039, バイオマス=680, GSHP=454, 太陽熱=790）。回答項目総計をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

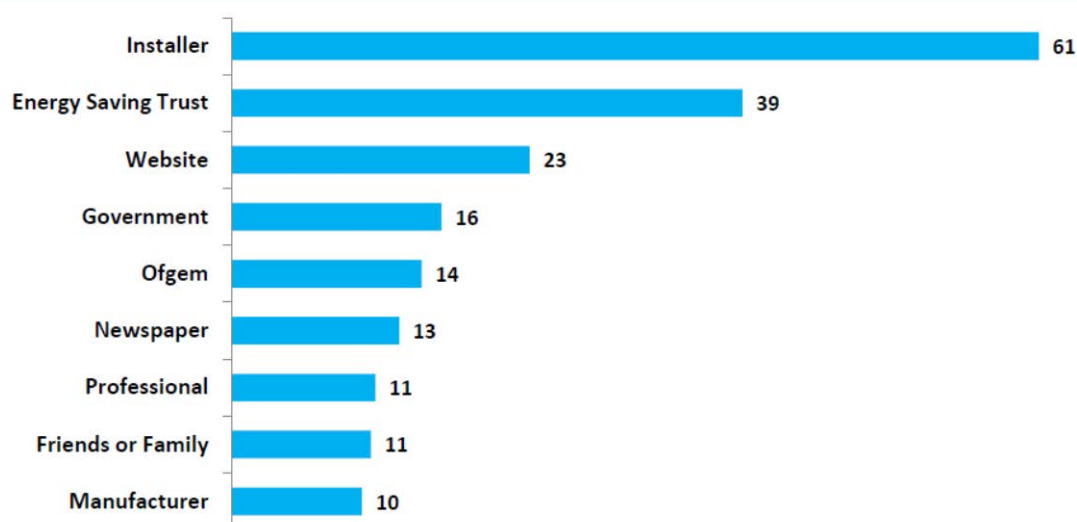
3. RHI制度を知った経緯と申請

- 3/5（61%）が、RE熱設備の設置事業者を通してRHI制度を知った。
- 3/5（61%）が、RHI要件に問題なし
- 問題があった回答のうち、最も多かったのは、申請手続きの不明瞭さ（16%）。
- 3/4が、申請手続きに非常に、またはほぼ満足
- 10人中9人（89%）が、設置したRE熱技術に満足

RHI制度を知るきっかけは、設置事業者

ほとんど（61%）が、設置事業者を通して制度を知り、次にEnergy Saving Trust（39%）、インターネット（23%）であった。政府ウェブサイトに掲載されているDECCガイダンスを含む公共情報は16%であった。

Figure 3.1: Ways in which participants found out about the RHI (%)



注：全回答数n=3,052。10%以上の回答項目をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

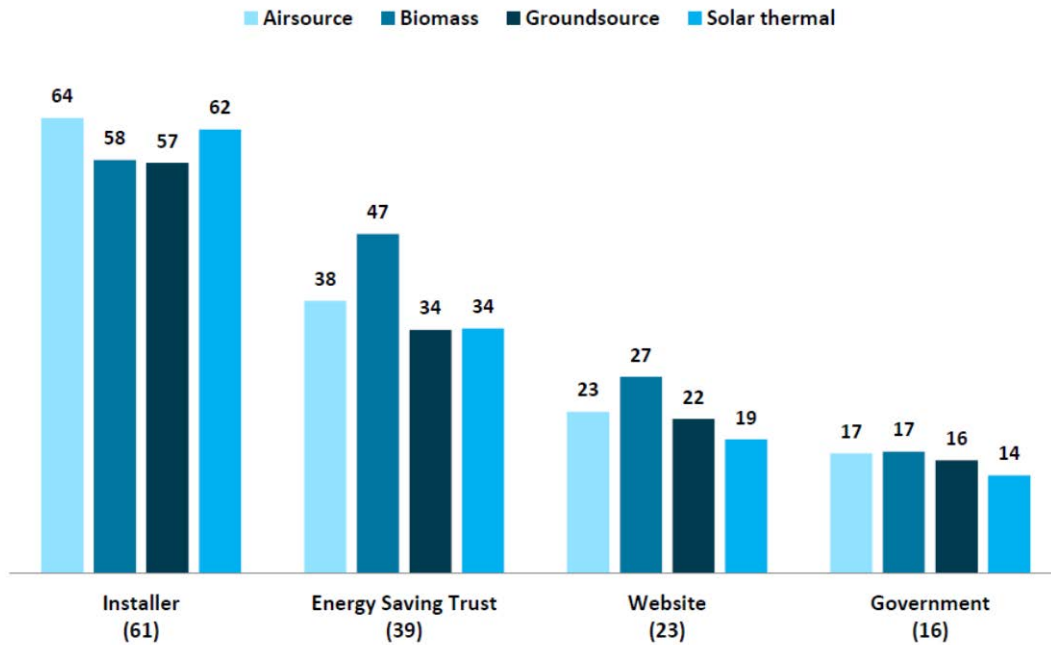
Figure 3.2に、RHI制度を知った経緯を技術別に示す。バイオマス・ボイラー(47%)では、太陽熱他の技術（39%）よりも、Energy Saving Trustを通して知ることが多かった。

2/5（39%）が、RHI要件で困難

61%は、RHI要件を満たすことに問題はなかったと回答したが、39%は問題があったと回答した。そのうち最も多かった問題は、申請手続きの不明瞭さ（16%）で、次にGreen Deal assessment査定の費用（14%）、RHI要件の情報不足（12%）であった。

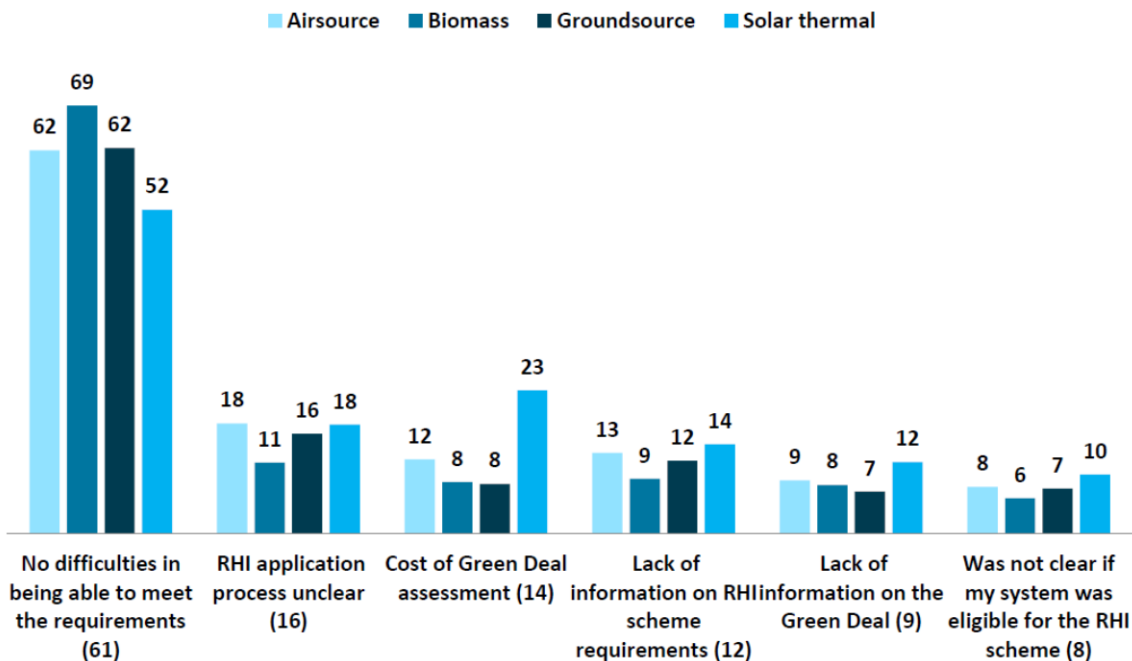
太陽熱（23%）は、他の技術（ASHPI2%、GSHPとバイオマス・ボイラー8%）よりもGreen Deal assessment査定の費用（23%）の回答が多かった。

Figure 3.2 The most common ways applicants found out about the RHI (% by technology type)



注：回答数（ASHP=1,039, バイオマス=680, GSHP=454, 太陽熱=790）。上位4位の回答項目を Multi-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

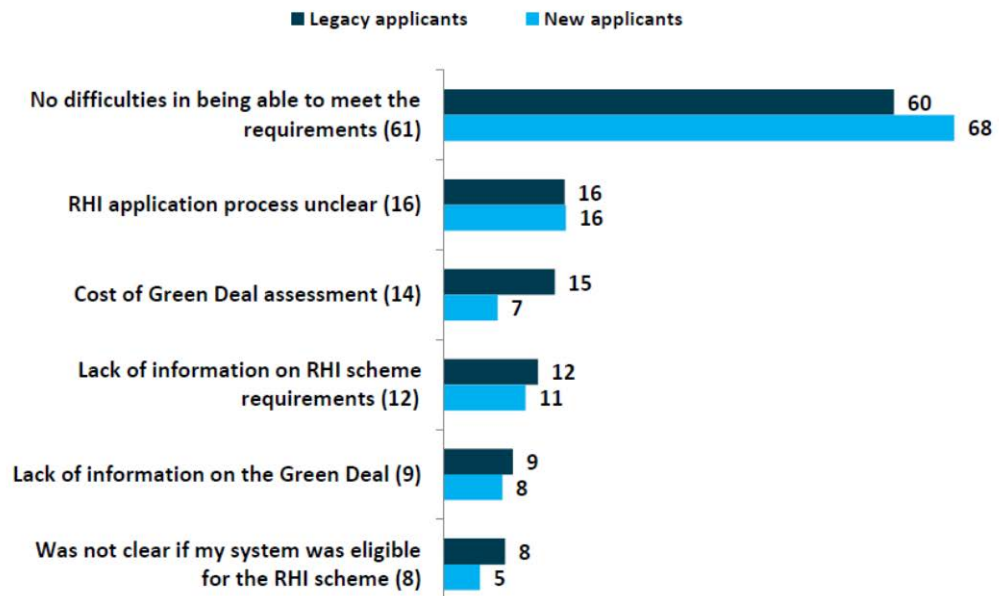
Figure 3.3 Difficulties faced in meeting the requirements of the RHI scheme (% by technology type)



注：回答数（ASHP=1,050, バイオマス=695, GSHP=505, 太陽熱=802）。8%以上の回答項目を Multi-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

問題がなかったのは、新規申請者で68%、レガシー申請者で60%であった。Green Deal assessment 査定の費用が問題だったのは、レガシー申請者 (15%)、新規申請者が7%であった (Figure 3.4)。

Figure 3.4: Difficulties faced in meeting the requirements of the RHI scheme (% by application type)

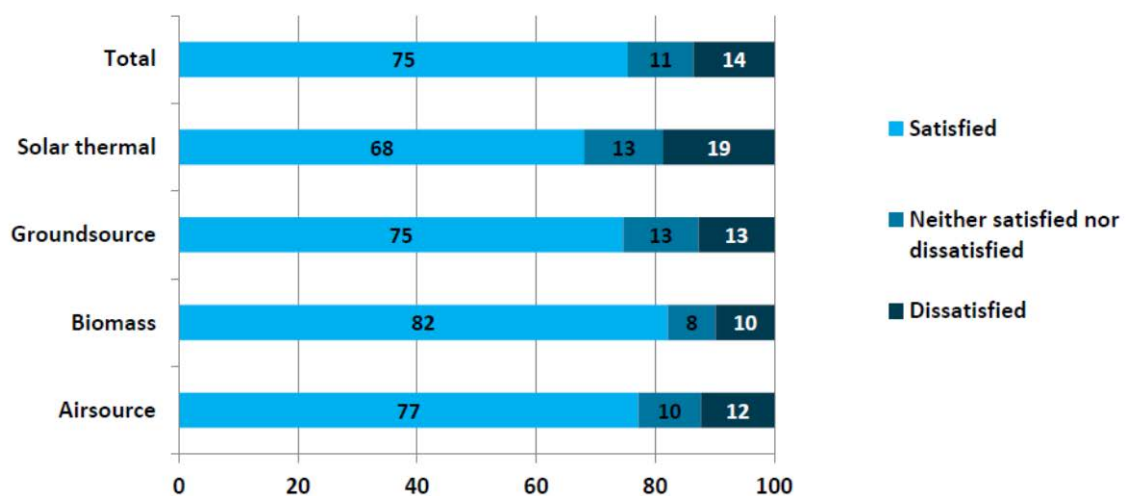


注：回答数（レガシー=2,629, 新規=423）。8%以上の回答項目をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

3/4が、申請手続きに満足

75%が、非常に、またはほぼ満足と回答した。残りの14%は不満足、11%はどちらでもないと回答した。新規申請者は81%、レガシー申請者は74%が満足と回答した。最も満足した技術はバイオマス・ボイラー（82%が非常に、またはほぼ満足）で、次にASHP（77%）、GSHP（75%）、太陽熱（68%）であった (Figure 3.5)。

Figure 3.5: Overall satisfaction with the ease of applying for the RHI (% by technology type)

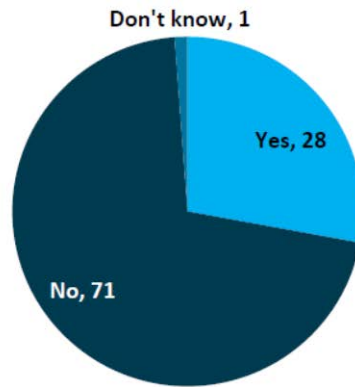


注：回答数（ASHP=1,028, バイオマス=673, GSHP=492, 太陽熱=787）。統合した回答項目をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

10人中7人が問題なし

Figure 3.6の通り、71%が申請手続きに問題なしと回答した。バイオマスが最も問題がなく（75%）、次に太陽熱とASHP（70%）、地中熱ヒートポンプ（69%）であった。

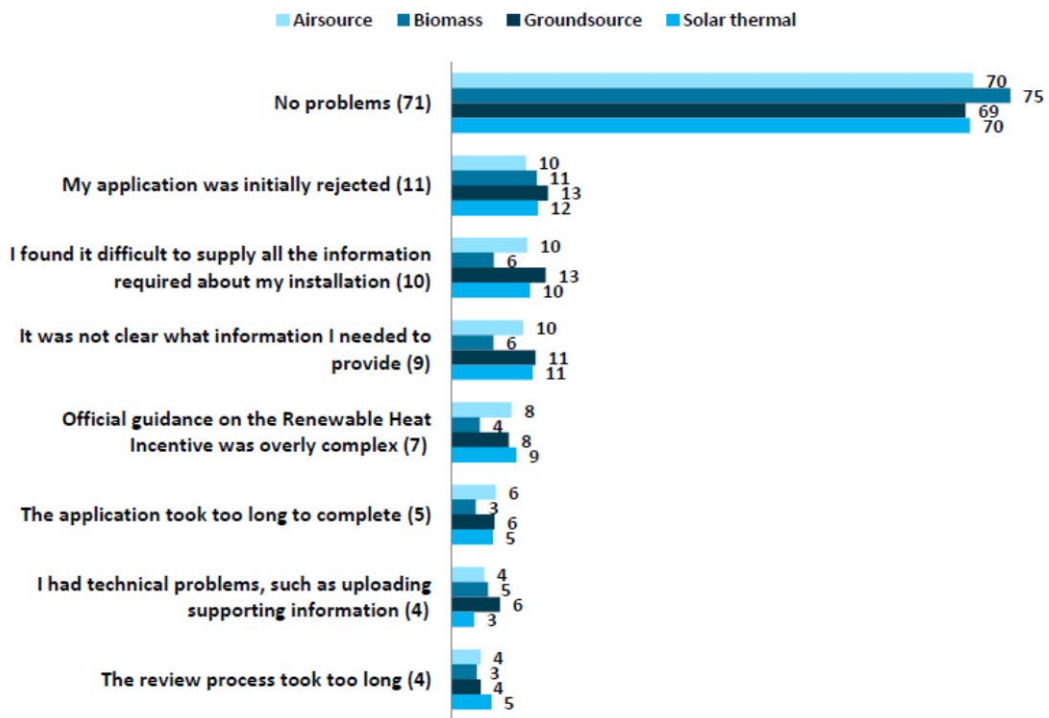
Figure 3.6: Did respondent face any problems completing the RHI application? (%)



注：全回答数n=2,978。Single-coded, 加重。

問題ありと回答した28%のうち（Figure 3.7）、最も多かった問題は、最初の申請が許可されなかったことであった（11%）。次に、要件にある資料を全て提出すること（10%）、どの資料を提出すべきかの情報が不明瞭（9%）、RHIガイダンスが複雑過ぎる（7%）であった。

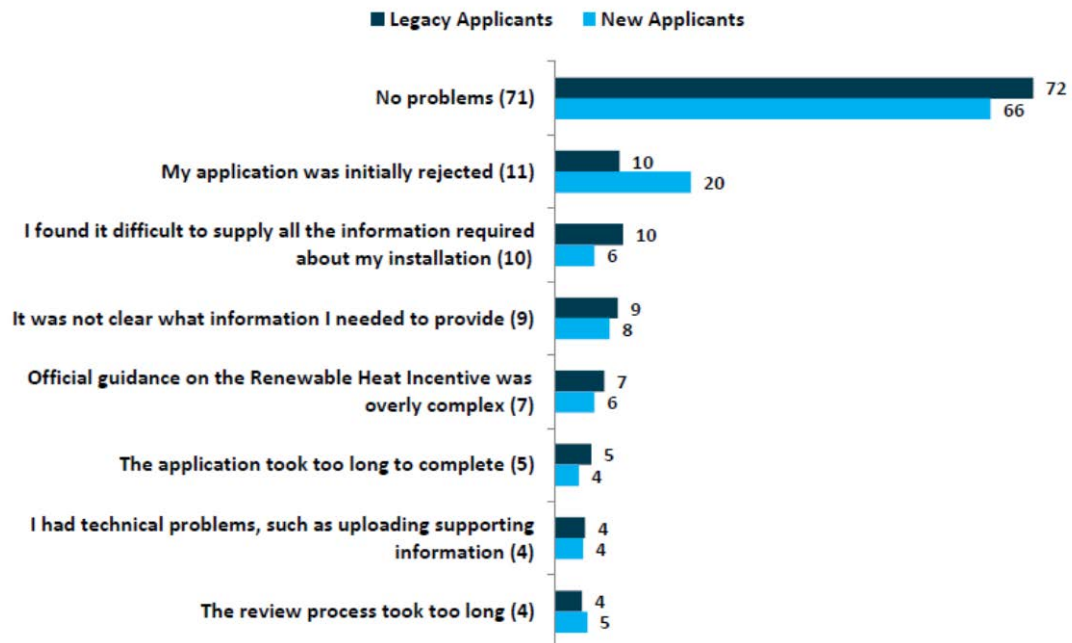
Figure 3.7: Most common problems faced in completing the RHI application (% by technology type)



注：回答数（ASHP=1,028, バイオマス=672, GSHP=492, 太陽熱=786）。4%以上の回答項目を Multi-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

RHI申請手続きに困難ありと回答した新規申請者は20%、レガシー申請者は10%であった。
 全ての資料を提出することが困難と回答したレガシー申請者は10%、新規申請者は6%であった。
 どの資料を提出するか情報が不明瞭と回答したレガシー申請者は9%、新規申請者は8%であった。
 正式ガイドランスが複雑すぎると回答したレガシー申請者は7%、新規申請者は6%であった。

Figure 3.8: Most common problems in completing the RHI application (% by applicant type)

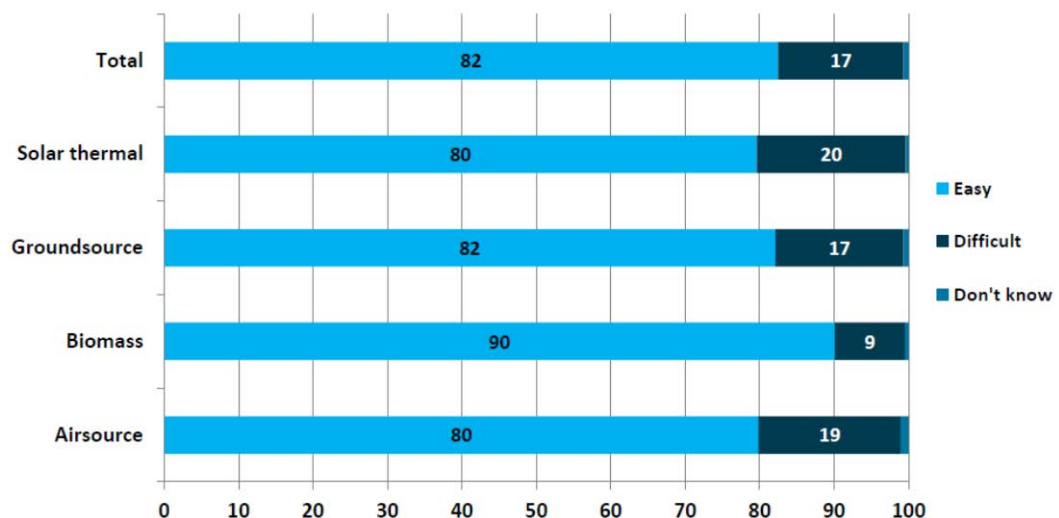


注：回答数（レガシー=2,567, 新規=411）。4%以上の回答項目をMulti-coded, 加重して掲載（詳細データは付則参照）。

ほとんどが、申請フォームは記載しやすいと回答

ほとんどが、申請フォームは非常に、またはほぼ記入しやすいと回答した。全技術で80%以上（太陽熱）、特にバイオマス・ボイラーでは90%が、非常に、またはほぼ記入しやすいと回答した（Figure 3.9）。

Figure 3.9: How participants found completing the RHI application form (% by technology type)

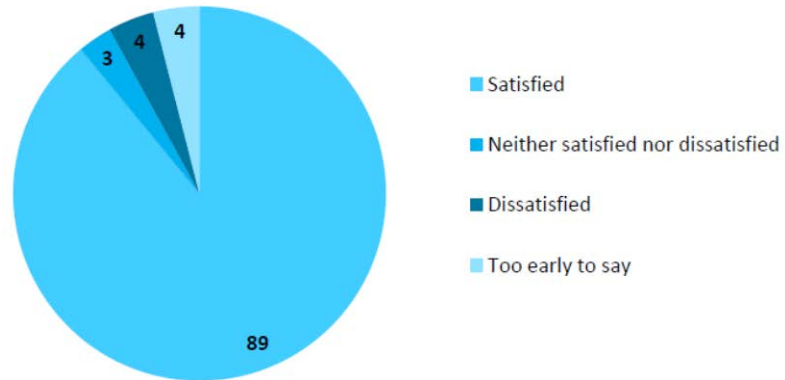


注：回答数（ASHP=1,028, バイオマス=673, GSHP=492, 太陽熱=787）。統合した回答項目を加重したが、連続配信のため%≠100。

設置したRE熱設備に満足

89%が非常に、またはほぼ満足と回答した (Figure 3.10)。最も満足度が高かったのはGSHP (94%)で、次に太陽熱 (92%)、ASHP (87%)、バイオマス (85%) であった。

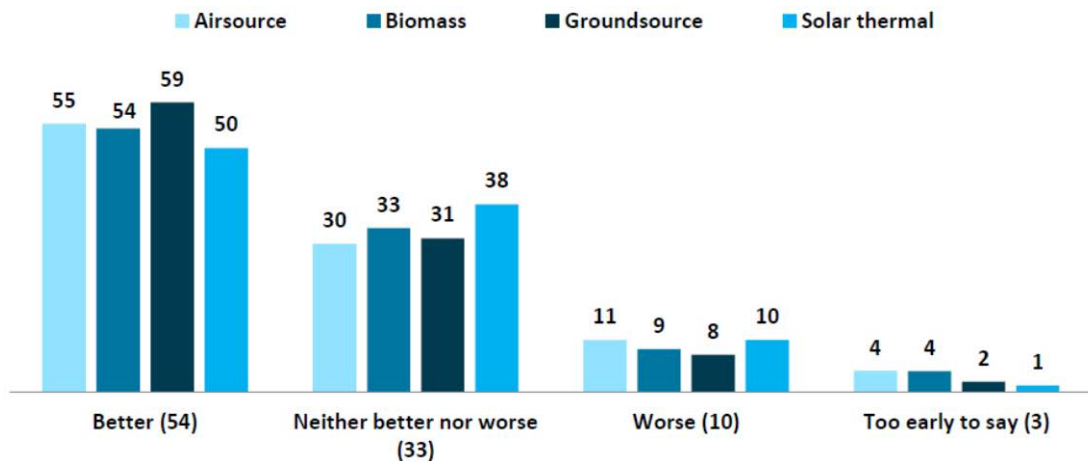
Figure 3.10: Satisfaction with the Renewable Heat Technology (%)



注：全回答数n=2,972。回答項目を統合、加重。

全体の54%が、設置したRE熱技術に、予想以上に満足と回答した (Figure 3.11)。最も満足だったのはGSHP (59%) で、次にASHP (55%)、バイオマス・ボイラー (54%)、太陽熱 (50%) であった。

Figure 3.11: Satisfaction with renewable heating technology compared to expectations (% by technology type)



注：回答数 (ASHP=971, バイオマス=615, GSHP=480, 太陽熱=775)。回答項目を統合、加重 (詳細データは付則参照)。

以上

